

吉祥寺東コミュニティ通信

九浦の家づくり

●NO.124 2019.11.01

吉祥寺東コミュニティ協議会
● 武蔵野市吉祥寺東町
1-12-6
吉祥寺東コミュニティ
センター(九浦の家)
●電話0422-21-4141

リアル避難行動体験!

九月29日(日)14時発災の想定で。
東部防災会・東部福祉の会共催
本宿小学校校庭

武蔵野市では大地震発生時に「災害時
要援護者」*1と「避難行動要支援者」*2
の安否確認(救助も)を地域の住民で行っ
てもらおうように決めています。

*1介護度が3以上で希望した方の安否を
確認して、必要なら専門機関に繋ぐ
*2災害が起きたら大変だろうなという、
妊婦、乳幼児親子、障害を持つ方、外国
人、高齢独居者など。対象人数は多い。
防災会も当日保管されている名簿を見
るまで誰が対象者かは判らない。対象者
自身も知らない。

大地震が起きたら、真っ先に要援護者安
否確認(福祉の会)が始まり、東部地域で
は一時避難所の本宿小と第三中学の校庭
に、報告を受ける担当者が待機します。
要援護者は介護度3以上、自力避難は想
定外ですが、自分で避難する方は校庭に
逃げて来て、受付に来るでしょう。この人
達の情報管理と、市に安否を伝える要援
護者の情報の仕分けをどうするかの実験
も行ないました。



東部防災会から

「東部防災会」では令和元年度の主たる
事業内容を「東部福祉の会」と協力して
災害時要援護者とその他避難が必要な人
の情報把握、救助救出を企画しました。
行政は、ペーパーだけで確立している現状に
不安を感じていないのか、大変疑問でありま
す。

この度の『リアル避難行動体験』訓練に
先立ち、六月30日(日)に本宿コミセンで
机上訓練を行いました。災害時要援護

者、避難行動要支援者と区分した呼び方
をされているわけですが、防災関係者で
すら取り違えてしまいうえです。地域に該
当する避難行動要支援の方たちがどのく
らいるのか? 支援者は何処まで何をすべ
きか? アクシデントに対応できるのか?
課題だらけでした。

そんな不安をひとつずつ解決すべく、今回
は『避難行動要支援者』を対象に支援者
の方々に実践訓練をお願いしました。この
場で課題を羅列するわけにはいきません
が、福祉の会の安否確認と避難所本部は、
一体運営しなければ災害弱者を支援する
ことが不可能であることは明らかです。そ
の為には武蔵野市の福祉と防災の部署が
連携していることが必須です。

十月七日の読売新聞に東日本大震災を
受けた改正災害対策基本法などで、市区
町村に「災害行動要避難者名簿」の作成
を義務づけていることが掲載されていま
す。更に、一人一人の個別計画の策定も
求められています。現状では個別計画に
沿った支援体制を福祉の会に求めることは
無理です。

一方で、「災害時地域支え合いステーショ
ン」として位置づけられている地域コミセン
の役割の中に、福祉避難室「おもいやり
ルーム」開設が期待されています。

個々の団体が、それぞれ意見集約をして
いるようですが、防災会、福祉の会、コミセ
ンが地域ごとに連携を確立したものでなけ
れば恐らく機能しない。今年度の検討課
題として、三者による協議会を進めたいと
思います。

東部防災会のメンバーは十数人しかおり
ません。私的な考えですが、災害時はこ
の地域住民の全員がメンバーになります。

予告

- ◆十一月22日13時
百人一首かるた大会
- ◆十一月24日10時半〜青少年協本宿地区
フレンドパーク 本宿小体育館
- ◆十一月28日19時〜「平和を考え
る」地域での自分の体験から
- ◆十二月1日、19日19時
「今年を振り返り」
- ◆一月19日 もちつき大会 九浦の庭
11時つき始め 13時終了 参加無料
- ◆中央アジア4 一月25日14時
題名未定 音楽・女性の問題について
東田範子さん(東京芸術大学)

安否確認、避難所の運営、防火防災知識
等の日常訓練を受けている方を核として、
地域の皆様の力で起動できるのが最短の減
災の道になるかと思えます。

東部防災会会長 川島好勝

←居合わせた方にも協力してもら
い、工具を運んで助け出し、担架
で搬送する訓練も。担架は力が
要り、大変を通り越して無理でも
あり、大課題です



→福祉の会は、貸与されている防
災無線3台の使い方を三丁目の添
田氏のコーチを受けて確実に使え
るようになり、いざという時連絡し
合う、もう一つの避難所第三中
学校庭との交信も成功しました。



「戦争と私 満州に生まれて」

東町三丁目 竹山悠紀子さん

七月28日14時

1932年満州国建国、満蒙開拓団入植、ソ連侵攻後の悲惨な帰国までの苦難がよく知られていますが、満州はそれだけではない。新天地にかけて、多くの日本人が渡満しました。竹山さんの父上は1935年32歳の若さで満鉄病院長の職を得て妻子を連れ移住、ロシア国境ブハトを皮切りに各地の満鉄病院を3年毎に転勤します。医者は頼りにされ大切にされ、乗馬やダンスをして優雅な生活を送った両親。五族協和、多様な民族がいて理想郷のほずでした・・・。

◇私はハルピンに近い横道河子で誕生、翌1945年太平洋戦争が始まる。記憶は3番目の赴任地、東洋のパリ大都会ハルビンからです。スチーム暖房完備水洗トイレのアパート2階。我が家は休日の兵隊のたまり場となり、軍歌ばかり聞き、3歳の軍国少女となった。兄は徴兵で女子供ばかりになった開拓団に勤労奉仕。そして撫順にいた時終戦を迎えた。

終戦一週間前にソ連が侵攻。「外人部隊」と称する囚人兵がまず来る。母は坊

主頭で兄の制服を着、トイレに隠れ部屋を作った。日本が負けるのは軍人から聞き知っていた。頼みの関東軍は住民を捨てて退却。満鉄中心に民間が避難民を受け入れて頑張った。父は赤十字の腕章で各学校(収容所)を廻る。所内ではチフスが流行り医者は不眠不休で働いた。一軒家だ



8月納涼のつどい
「吉祥寺の美食を語る」
レポート 浅井信也さん
2019現在行ったことのあるリスト114店舗、パン屋21店舗。
2度の目視によると、吉祥駅エリア飲食店数873店。一番の集積地は、駅と井頭通りの間の224店。



今年、運営委員浅井氏の手になるキツシユ、ラタトイユ、ビーフのワイン煮込みが出され、情報交換とおしゃべり、味

つた我が家はロシア秘密警察隊長の宿舎になり追い出された。隊長は紳士で、膝に乗せて遊んでくれた。そして連れてきた当番兵の金髪の青年にピアノを弾かせた。お礼のつもりか。

しばらくしてソ連が撤退。国民党軍が来て満鉄社宅に分宿、我が家は連隊長の宿舎になり同居生活が始まった。毎朝の点呼には大好きな連隊長、連ちゃん、に抱っこされ、私が答礼した。平和な日々。1946年神社境内で青空教室が始まる。引き揚げ事業が始まり、兄と祖母が日本へ帰った。

ある日急に連ちゃんたちが荷をまとめて撫順を出ていった。蒋介石と毛沢東の内乱になり、国民党に代わって八路軍がきたのだ。またアパートを出て向いの外科部長の家に同居した。姉は頼まれて、八路軍の兵士に地面に書いて文字を教えた。中国人にいじめられたことはない。ある日、長のついた人が皆捕えられた。父は病院隣接の保健局の所長も兼ねていたが、保管している2万人分の青酸カリの責任者だった。逃げきれぬときは配れということだったが、関東軍が真先に逃げ命令が出なかつたので、父は鍵を開けずに済んだ。中国人を殺そうとしたのではないかという。疑いが晴れ一週間で帰る。技術者や医者は八路軍から帰国

を許されなかつたが、年配だったためか2年で許可され、1951年帰国。

引揚列車は石炭用貨車。列車は時々止まる。止まると匪賊に襲われるので、中国人の運転手に集めたお金や指輪や時計を渡し、止めないように走ってもらう。葫蘆島から引揚船で佐世保につきDDTを浴びて、米一升分の代金をもらって目指した東京駒込は、まだ瓦礫の山だった。そして武蔵野町の住民となった・・・

行き届いた興味深いお話を、ここではその一部をピックアップ。機会があったら是非全容をお聴きください。様々な活動でお顔の広い竹山さん。参加74名。

がんサポーター拠点について学ぶ

九月つどいは23日午後。二人に一人はがんという時代のがんサポーターの現状や知識をCBO法人「マギーズ東京」の看護師岩城典子さんから聞き、後半は体験者、当事者も交え、こんな場があればという思いを「マギーズ東京」に学ぶがんサポーター拠点を武蔵野に「グループ」から。

武蔵野市は患者会が少なく、平井医院跡地に小さくても機能を高め、マギーズ東京にもつなごう。



了時間を早めに設定。子どものゲームはその分早く開始。二日目のわんぱく相撲本宿場所も盛会でした。校庭花火の前に、鼓鳩さんの和太鼓と昨年に次ぎ本宿小ブラスバンドが演奏を披露。浴衣姿でサクセスやトロンボーンを吹く子もいて、大喝采。

◎九月14・15日、女子大通り秋祭り(秋祭り運営委員会。元光会祭礼)。今回は子ども神輿と山車の経路を少し長くしました。九浦の家では、恒例のガリガリ君と麦茶のサービス。参加児用お菓子(5袋、ビンゴゲームのカード)50枚もあらかたはける参加者。1等賞はデイズニールンダ家族招待券でした。四軒寺町会の神輿も

◎十月20日 吉祥寺東部フェスティバル 次号
◎十月25・26日 三中くぬぎ祭 次号
◎本宿小のピオトップの草むらにヤマカガシが。蛇情報もひさしぶりです。

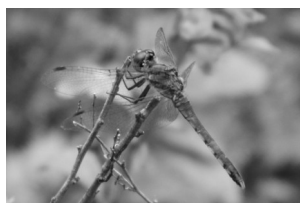
◎八月29日夕方5時過ぎ、五日市街道、宮本小路交差点のセブンイレブンの前を横断歩道を横断中の高齢女性が車と接触。ギターを背負った若者など多数がサポートしていました。時間が時間だけに、五日市街道大渋滞。

◎東町交通事故(七月24・九月23)
【人身事故】一丁目2件(吉祥寺通り1、五日市街道1)、二丁目1件(吉祥寺通り)(車×自転車2、自転車×歩行者1)

【物件事故】一丁目13件(五日市街道1、女子大通り2、駐車場内4)、二丁目7件(女子大通り2、駐車場内2他、三丁目2件(駐車場内1)四丁目5件(駐車場内2他)(車×車、車×物8、自転車×車3、自転車×自転車1、自転車×歩行者1、バイク×車2、自転車×物1、)

◎九月20日三丁目で公然猥褻。十時半頃、オートロック解除中に気配を感じたら露出者。

十月24日(木)のつどいは「吉祥寺東町農業公園」について。次号で報告します。



そこで生活する私たちです。

三コミネット市議との懇談会

八月25日 九浦の家

議員は新人議員も含め14名 参加者58名、高校生も。3グループで地域課題と第6期長期計画につき意見交換しました。



議員からは、吉祥寺南口辺の整備の遅れ、グランドデザインまともでない、保育園・病院・道路の開発などの合意形成がなされていないこと、情報提供と周知が必要との発言がありました。住民からは、女子大通り拡幅は住民との意思疎通に欠けた。都道でも市は市の課題として考えるべき。保育園・女子大通り・外環・南病院とも市よりの情報発信が遅い。決まってるから出さな、事前に聞け。現実的に考え、勉強しながら話し合わないとダメではないか。などの意見。長期計画は未来地図、将来像の描き方が弱い。子どもが希望を持てることを。市政には、現場視点を。新ITツールを使った情報共有をなど提案もありました。さらに、武蔵野市は細かいサービスは手厚いが先頭ではなくなった。高い負担に見合っているのか。武蔵野市は本当に

市民自治を大事にしているのかなど問いかけてあり、議員は正しい情報持てるのだから伝えてほしいと要望ができました。

南病院は用途地域変更の地区計画中。都計審に

病院用地の用途変更をめざす「地区まちづくり協議会」は、南町コミユニティ協議会と、第1回の話し合いを七月10日に行いました。「病院用地の用途変更と容積率の緩和のお願いと周辺の環境変化を緩和する意味から、病院も土地を提供しコミセン南側ひろばの一部も含め、新病院南側に東西の自由通路および公園緑化を行いたい」というもの。広場は非常時の避難場所として使えるよう備蓄倉庫も置き、コミセンの管理地となつている。多くの質問、意見が出され、コミセンとの話し合いは継続となつています。

吉祥寺東町一丁目市有地 活用検討委員会」で検討中

検討委員会に、東町から、東部福祉の会 桒折さん、東コミセン青木さん、公募で中村さんが参加します。第1回八月16日、第2回が十月3日にあります。第1回、互選で委員長亜細亜大学名誉教授の栗田充治氏を選出。副委員長は明星大学人文学部山井理恵教授です。この回は自己紹介と日程調整、土地取得の経過と現状、土地の課題、ワークショップ等の検討結果報告。福祉目的で譲られた土地であり、3年前「岡田さんち」閉館後、東部地区には高齢者サービスの拠点がなく、福祉サービス施設を最優先させたいとの福祉部の意向、第

6期長期計画との関係も説明されました。ワークショップでは多世代利用が希望されていますが、コミセンでできることはコミセンで市の基本方針のようです。委員会傍聴できます。市報でご確認ください。記録は一月遅れで市のホームページに掲載されます。

外環 NOW

「武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会」の中間まとめ作業部会は、34回に。追い込みに入り、都側の答弁部分を整理中。激闘です。大深度トンネルは、北行小田急小田原線と神明橋の中間点。南行は目白通り北手前まで。

女子大通り拡幅計画に関する陳情

女子大通りを考える会の陳情が、九月12日市議会建設委員会で審議され、継続審議となりました(次回十一月)。第6期長期計画(案)都市基盤都市計画道路ネットワーク整備の推進の項で「誰もが安全・安心に通行できるように拡幅する必要がある」と、東京都事業化を要請する一に対して出されたもの。「住民との協議を継続する」「市から東京都に対して拙速に事業着手をしないことを要請」「歩道整備の問題を16mの拡幅計画と切り離し問題解決に取り組むこと」の3点。



東町二ユース

大型台風19号、被害の全貌は呆然とするばかり。雨は猛烈ながら風は15号や昨年の方が強かったか。地震まで発生。稲荷前駐在吉祥女子あたりも無事。



- ◎九月7日15号台風で、女子大前アセスウチのモミの木が一本倒れた。
- ◎19号で本宿コミセン雨漏り。5日間休館。
- ◎十月5日四小運動会、晴天のもと白勝利。高学年の「みくら」健在。生徒席にもテント。
- ◎九月初め宮本小路の道路排水施設側溝清掃。大雨に備え年度末まで順次実施。右写真棒につけたラシですり吸い上げ、水で流す。
- ◎十月11日台風接近の中、ほっともつと後に「まいばすけつと」(イオン系の生鮮食品・食品マルエツのミニ版)オープン。
- ◎九月第4週、五日市街道宮本小路公園東隣のデイサービスの地下に、高地トレーニングスタジオ「ハイアルチ」オープン。
- ◎コピス向かい「コマルシアター」残念ながら九月11日ラスト上映。その後閉館。
- ◎宮本小路公園南向かい「たるたるほるもん」九月で閉店、取り壊し予定。昔昔は法政の生徒たちがパンなど買う店でした。
- ◎宮本小路公園向かいマルヤクリーニング十一月閉店
- ◎七月3日本宿校庭水あそび大会に250人
- ◎小林幸一郎さん七月17日フランスでバラクライミング世界選手権4連覇。51歳!
- ◎武蔵野ジャンボリー本宿地区(七月22)24日は雨には降られたけれど、晴れ間に出かけた先で見つけた水晶の釜(石の窪み)に大きな水晶があったり、カブト虫の大きなメスを捕まえたり。肝試しの時に鹿が現れたり。
- ◎八月17・18日本宿地区盆踊り、今年は終

アジアを知ろう① 中央アジア篇1

「食と人々の暮らし」 六月29日 14時



お話 先崎将弘さん
「おいしい中央アジア協会」
専務理事

スタンスと呼ばれる国で構成されている中央アジアは、歴史的な交易路シルクロードの舞台。美しく雄大な山岳地帯や古都サルカンドなど世界遺産や遺跡が多くあり、近年は稀少な地下資源と石油・天然ガスの埋蔵から『新中央アジア時代』とも言われる最も注目の地域です。第一回目は、あまりなじみのない中央アジアの入門編として、民族や宗教内乱など何千年も続く難しい問題を抱えながらも人々がどう暮らしているのか。食を通じて探ってみました。ピラフの源も中央アジアに。リサーチすると、おいしいものがたくさんあります。「胡」という字に由来する食品の源であることも知られています。

アジアを知ろう 中央アジア篇2

「悠久の大地へのいざない」 七月20日

講師 小松久男東大名誉教授

広くユーラシアに展開される中央アジアは1991年ソ連から独立したトルクメニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタンの5か国をさす。パミールの大砂漠地帯があり、山岳、オアシスの点在する雄大な景観だ。歴史の主人公は草原の遊牧民とオアシスの定住民で、互いに関

係し文化を織りなした。

大草原に住む遊牧民は馬による機動力で圧倒的軍事力を持ち広大な国家を建設した。草

原から南に下ると緑豊かなオアシス都市があり、古くから高度な文明を築いていた。ソグド人は現在のウズベキスタンのブハラ、サルカンドにいたイラン系の人。ユーラシア大陸を横断する商業を行いシルクロードの担い手だ。草原の民はテュルク系の人々で、徐々に南に下り、イラン系、ヘルシヤ語とテュルク語両方を話す。

その後の歴史は、いくつかの大国によって紡がれる。モンゴルが進出し帝国を築く。ハンはチンギス家の血統のみ継ぐ。モンゴルの後、英雄ティムールによってティムール朝(14・15世紀)が築かれた。サルカンドが首都。遊牧民の軍事力と定住の都市住民の経済力をまとめ上げ高度な文明と繁栄をもたらした。次にムハンマドの教えにしたがったアラブの軍勢が進出し、一世紀の間にイスラームの大帝国サーマン朝を築く。ソグド人は激しく抵抗するものの、徐々にイスラームに改宗し、それ以前のゾロアスター教、仏教などの宗教がイスラーム一つになった。

19世紀の半ばロシアが、まず草原を支配し、次に軍事力でオアシスを征服して中央アジアを植民地化した。ロシアは第一次世界大戦でドイツと闘い、植民地での反乱もあり、内側から崩壊し、そこに革命が起こった。ロシア革命により、中央アジアにソヴェト体制が成立(1917-1920年代)した。

しかし、革命は植民地からの解放ではなかった。権力はソヴェイトが握り、1991年に現在の民族別の中央アジア5か国の枠組みができた。ここから先生の専門の近現代史。以下は記録ができています。

興亡の歴史を、画像を交え話され、中央アジアの魅力、興味がさらに喚起された思いがした。小松ファンもいて、参加者65名の超満員。皆さん満足の様子でした。



「草原の騎馬文化」語り継がれた文芸の世界

中央アジア3
坂井弘紀 和光大学
表現学部教授
九月21日 14時

季節移動を繰り返す遊牧生活と機動性の高い騎馬文化。夏营地と冬营地を行き来した。四畜に蜂やアヒルも家畜。馬は特別に大事だ。シルクロードと東西を結ぶ遊牧民でシヤミス・テングリ信仰、ゾロアスター教、仏教、キリスト教、イスラームなど多様な宗教で垂直多層的世界観・世界樹。歴史、宗教の垣根で色々な宗教の施設が共存。現在は、どこも高層ビル広い道路など、一見近代都市であって、遊牧の気配も感じられない。

中央アジアの英雄叙事詩は「無文字社会」の豊かな精神文化。口承文芸の様々なジャンルは、共同体と伝統的な語りの中で成り立つ。叙事詩は習俗、信仰、歴史、教訓、世界観の百科事典で、自らの歴史を示す史料。定住化と近代化により「語りの伝統」から

叙事詩の記録出版、研究へ。英雄は新共和国で国家統合のシンボルとなり「英雄叙事詩」は学校で教えられ、アニメや映画の題材となる。馬が重要な役割。トンブラ(二胡)との語りは音楽性高い。日没後に語られ、聴衆の反応が出来を左右する。1916年の中央アジア反乱ですら、古来の手法で歌われた。坂井先生の専攻は伝承の比較研究

テュルク系民族「アルバムス、パトウル」と日本の幸若舞「百合若伝説」、カザフの「エル・トシニテク」と「甲賀三郎(諏訪地方伝説)」についてもお聞きした。この比較研究は、世界に広がる類話同士の関係を説明する中で、日本の伝承・民話が世界的にどう位置付けられるかの「たたき台」になるそうです。

小峰虫おじさんと 七月27日 10時

九浦の庭の生き物探し



雨後の快晴。四小、本宿小、東保育園、檜の実幼稚園など、5・7歳、小学生は低学年で低年齢が目立つ。小峰光弘さんから

昆虫の体の構造や目、目の退化した虫はどう食べ物を探るか、1本の糸しか出さないクモの獲物の捕まえ方など聞いた後、庭へ出て虫のいそうな所、どう探すかなど、説明を聞きながら皆で探した。今年は梅雨が長く、気温が低かったせいも、まだ育っていない、小さくて、幼虫、亜成体のものばかり。40分過ぎてても虫取りに夢中で部屋に戻らない。さて、捕まえた虫は、少し珍しい銀メッキ・みぐも、あしながグモ、キレワハシトリグモなども見つかった。ダンゴムシとワラジムシの違いなども面白く聞いた。蟬ゼロ。子どもの質問には、毒ぐもはどのくらいいるの? 分類の話など少し高度な物もあった。

▼受付、女性トイレに「女性相談カード」(男女平等推進センター)
▼コミセン防災プロジェクト開始。支え合いステーション検討。
▼諸般の事情でフリマは年一回に。秋のフリマはありません。ご理解を。
▼九月24日吉祥寺東落語会。三朝さん蜘蛛駕籠とあくび指南の2席でした。
▼十月3日「ミニテイエ研究連絡協議会定例会」
▼昨年台風で大木が折れたので、事前に庭の樹の上部切り詰め。
▼バス研修は十月23日昭和天皇記念館と道の駅
▼印刷機新機種に入替。

